

“a life studio” Haier Japan から誕生した第一弾商品！
ハイアール × 鶴田一郎 コラボレーションモデル
 ～ 既成概念を打ち破った“組み合わせの新発想”という格調高き冷凍冷蔵庫 ～

ハイアールジャパンセールス株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:杜 鏡国)が展開する「a life Studio” Haier Japan」(エー・ライフ・スタジオ) から、現代美人画の第一人者であるデザイナーの鶴田一郎先生とコラボレーションした冷凍冷蔵庫のコンセプトモデル(プロトタイプ)を発表しました。

今回のプロジェクトは、「冷蔵庫は近い将来の生活を見越して、必要であろう容量の大きさを選ぶ」という常識は、果たしてその通りであるのだろうか、という疑問から始まりました。チームで議論した結果、『その時の生活やニーズなどライフステージに合わせて、後から買いたしたり、半分に減らしたり、冷蔵庫や冷凍室を自由にアレンジできたらよいのではないかと。また使用ニーズを追求するだけでなく、そこに情緒的な表現を加えて空間そのものを演出するオブジェであったら、毎日のくらしがもっと楽しくもっと好きになるのではないかと』という考えに行きつきました。

そこでデザイナーの鶴田一郎先生と出会いから、「冷蔵庫をもっと身近な生活空間に。また機能だけでなく、インテリアとしての美しさを追求する。」をコンセプトに、305L 冷凍冷蔵庫と 40L 冷蔵庫にデザインを描くことを決めました。

採用したデザインは4作品です。2007年に描かれた鶴田一郎先生の代表作である「ピュアレッド」、美人画代表作のひとつである「Desire」(デザイヤー)、美人画の原点にもなっている安土桃山時代から江戸時代にかけて家伝によらず受け継がれた画法やその画法を描いた絵師を総称した“琳派”を鶴田一郎先生流にアレンジした「Snow」(スノー)、2009年に描かれた「笹百合」です。

また本商品には仕掛けがあります。なんとニーズに合わせて商品を組み合わせると、一枚画が完成します。さらに単体であってもデザインとして成り立つので、格調高い空間を余すことなく演出することができる商品が完成しました。



a life



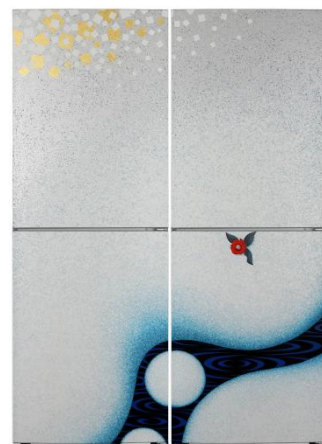
『ピュアレッド』デザイン
40L 冷蔵庫



『笹百合』デザイン
40L 冷蔵庫 × 2台



『Desire』デザイン
305L 冷凍冷蔵庫 × 2台



『Snow』デザイン
305L 冷凍冷蔵庫 × 2台

“a life Studio”は、新しい枠組みの中で変わっていく「個の生活 -a life-」としっかり向き合いながら、これからの家電と個人の間を模索していくハイアール・ジャパン の新たな取り組みとして、2012 年 4 月から始動。今回のコンセプトモデルは、この“a life Studio” Haier Japan がお届けする記念すべき第一弾のコンセプトモデル(プロトタイプ)。実に簡単でシンプルな発想だけど、今まで気がつかなかった既成概念からしなやかに離脱して生み出す、新しい冷蔵庫のご提案です。お客様のニーズにお応えしながら、インテリアとして格調高き住空間へのいざなうデザインが、キッチンやリビングから、寝室・書斎・ゲストルームや茶室など様々なシーンを演出する、多様なアイテムの一品をお届けいたします。

なお本商品は、9月5日(水)から9月10日(月)までの5日間、阪急阪神百貨店博多阪急で開催されている“鶴田一郎展 美人画 30年の軌跡”にて展示されます。

<『鶴田一郎展 美人画 30年の軌跡』開催概要>

日時 : 2012年9月5日(水)~9月10日(月)
会場 : 阪急阪神百貨店 博多阪急7階イベントホール「ミュージズ」
開館時間 : 10:00~20:00 *最終日は17:00まで
入場料 : 無料
主催 : 株式会社 鶴田一郎事務所

<鶴田一郎プロフィール>

1954年 熊本県天草市(旧本渡市)生まれ。1976年に多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業後、1987年にノビア化粧品広告に美人画が採用され一世を風靡する。その他に、美容液シャンプー「エフキュア」(株式会社ヴェントゥーノ)広告起用や熊本城「桜の馬場 城彩苑」店舗総合装飾をプロデュース。現在、美人画のみならず鶴田流現代琳派をテーマに大作に挑んでいる。福岡にアトリエと居住を構える。

<“a life Studio” Haier Japan(エー・ライフ・スタジオ・ハイアール・ジャパン)>



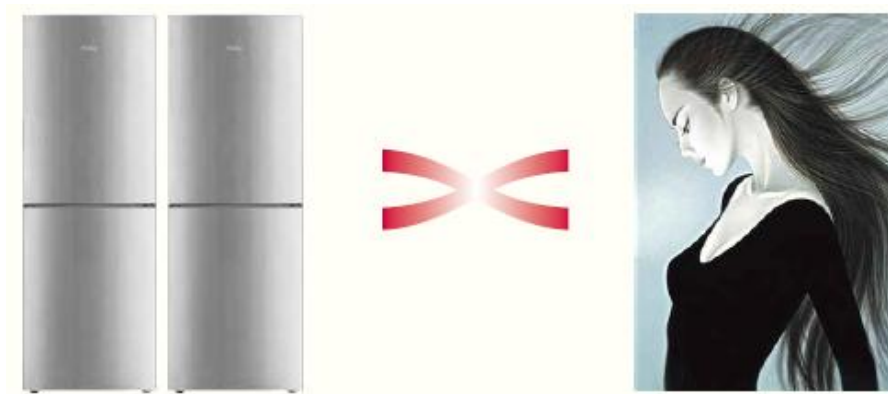
a life

2012年から日本の生活者と相互コミュニケーションを通じた新たな商品コンセプトを創出する目的で生まれた“オープンイノベーションプラットフォーム”。生活様態がますます多様化し、当たり前としてきた生活の枠組みが大きく変わろうとしている中で、「a life Studio」は、“個の生活 -a life-”と向き合い、これからの家電と個人の間を模索していきます。そしてその先に、日本市場でのハイアールブランドのあるべき姿を探していきます。

<商品紹介>

1.Haier Think Series 305L 冷凍冷蔵庫 (JR-NF305AR / AL)

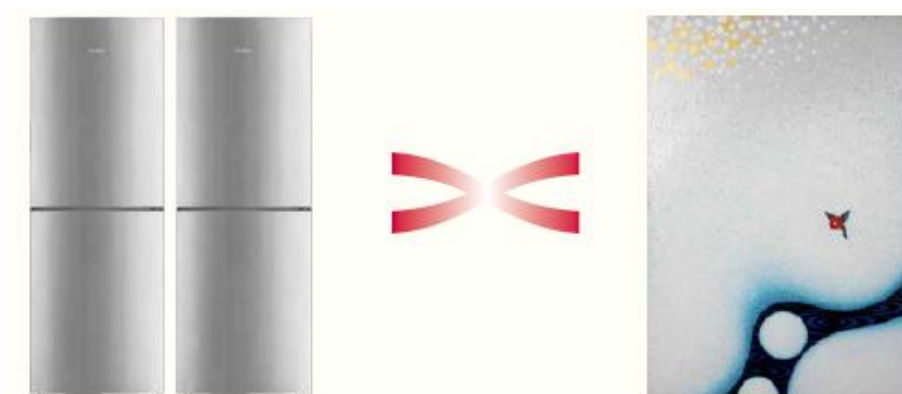
“大人数のホームパーティを開きたい人には大きな冷凍冷蔵庫！”



例えばオープンキッチンを華やかにして、大人数のホームパーティも開きたい方へのとっておき！
305Lを2台購入して、普段の生活では1台だけで使い、パーティの時やたくさんの食材をストックする時には、もう1台を稼働させる。組み合わせると一枚の絵が完成するという芸術性と、エコで便利なスタイルを組み合わせた新発想。

デザイン画:「Desire」(2009年作)

“新婚で二人暮らしから、近い将来子どもが増えた時に買い足しできる冷凍冷蔵庫”



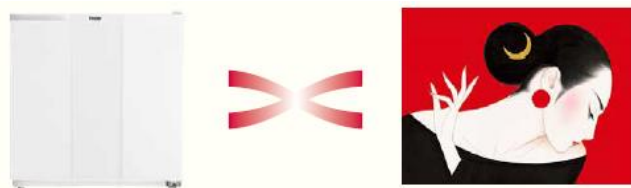
今は新婚で共働きだから、そんなに大きな冷蔵庫は必要ないけど、近い将来子どもはたくさん欲しいから、始めから大きめにしておいた方がよいかな、とお悩みの方に！

まず305Lを1台購入しておいて、必要な時になったらもう1台を横に追加してみてもどうでしょう。1台でも2台でも美しくニーズを満たす、アートな冷凍冷蔵庫。

デザイン画:「Snow」

2.Haier Joy Series 40L 冷蔵庫 (JR-N40C)

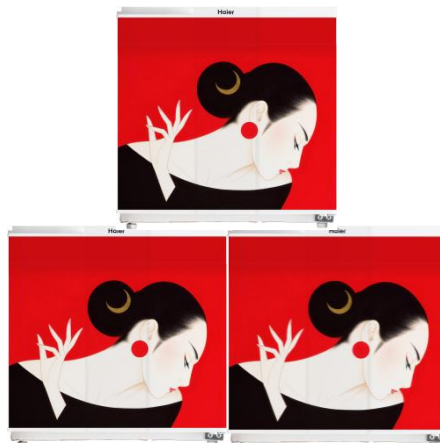
“プライベート用のミニ冷蔵庫や冷凍庫！”



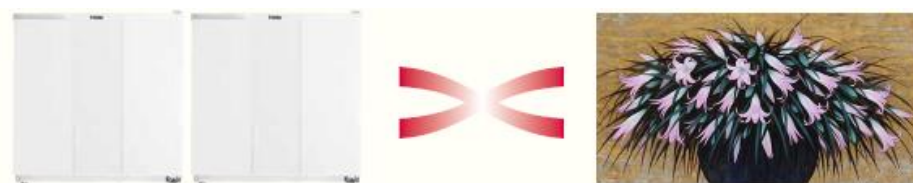
用途に応じて、それぞれ 1 台～複数台組み合わせせて配置するという新発想。

例えば、冷蔵庫×2 台+冷凍庫×1 台を組み合わせれば 120L の冷凍冷蔵庫となり、一人暮らしには十分な容量へと生まれ変わります。

デザイン画:「ピュアレッド」(2007 年)



“リビングや寝室にもちょっとした飲み物を入れられる冷凍&冷蔵庫！”



リビングや書斎、客間やお茶室にもちょっとした飲み物を入れる冷凍冷蔵庫があればいい……。でも高さがある冷凍冷蔵庫はインテリアとして不釣り合い。そのようなニーズを解決するには、40Lクラスの冷蔵庫1台と冷凍室1台を、横に並べてみてはどうでしょう。冷凍冷蔵庫が縦型である既成概念を打ち破り、圧迫感を抑えて横置き換えた新発想をご提案！ 笹百合のデザインは、洋室でも和室でも格調高き空間へいざないます。

デザイン画:「笹百合」(2009年作)

ハイアールジャパンセールス株式会社およびハイアール社について:

ハイアールジャパンセールス株式会社は、中国山東省青島市に本社を置くハイアール社製品の日本における販売会社として 2002 年に設立されました。ハイアール社は、1984 年に冷蔵庫メーカーとして事業を開始して以来、徹底した品質とサービスへのこだわりのもと、90 年代よりエアコン、洗濯機、小型家電、黒物家電へと事業の幅を広げてきました。世界各国の消費者ニーズや文化に適した製品をーから開発することを強みとし、2011 年には3年連続となる白物家電分野で世界シェア第 1 位※にランクインしています。日本国内で販売するハイアール製品も、デザインや価格、そして日本のユーザーが毎日の生活で本当に使う機能にこだわった「くらしにフィットした実用家電」を開発・提供し、豊かなくらしの新しい価値(ライフスタイル)を提案しています。(※ワールドワイドブランド販売シェア(2011年実績)2011年12月 Euromonitor 発表)